

若手経営者リレー



✪✪✪✪✪✪✪✪



社」として、故人や遺族のいろいろな要望や相談に対して、遺族の気持ちを大切にきめ細かく対応するよう努めている。

■今後の課題と対応

高齢化社会の到来とはいえ、同業他社の急増による競争の激化や家族葬等の葬儀の簡素化の流れもあり、将来の経営環境は厳しいと予想している。

今後の対応としては、まずは当社の知名度向上策として、左記の内容を検討している。

①当葬儀場に至る道路の要所に案内看板を設置する。

②ホームページの充実と葬儀内容や料金の透明化を図る。

③冊子類の充実であらゆる相談に判りやすく対応できるようにする。

また、他社との差別化策として、還元事業の「プリザーブドフラワー教室」の実施やボランティアとして、「境川クリーンアップ作戦」にも携わっている。

■魅力ある町田市の発展には

町田市では、一部の葬儀を間接的に運営しており、結果的に民業圧迫に繋がっており、他市のような最低価格導入による葬儀社軒旋策の導入を希望している。

また、町田市の事業税は高く、他市への本社移転の流出防止、新規の企業誘致等の中小企業対策として、早急な減税策を望んでいる。

健吾 (四十三歳)

■会社の概要

本社：町田市小山ヶ丘一・十一・十四
営業所：相模原市矢部三・二十八・八
創業：昭和五十一年八月に相模原市横山で「東典禮」を設立し、その後平成十四年に現社屋兼斎場を建立。

事業内容：葬儀全般、霊柩車、花輪・生花、仏壇仏具、仕出し、返礼品、墓地幹旋、宗教者の紹介など。

従業員数：二十人（パート含む）

■営業の現状

最大三百人収容の葬儀式場を有し、通夜・告別式・法要法要を行っている。

館内は、霊安室・宿泊施設・シャワー等も備え、二十四時間体制で遠方の弔問客にも対応できるよう完備している。

営業範囲は、町田市・相模原市をはじめ八王子市・多摩市・都内二十三区・横浜市等に及んでいる。

■経営方針と重点目標

「地域密着型の葬儀社」を第一とし、地域の自治会・防犯協会・交通安全協会等の団体と積極的に関わり、地元との交わりを大切にしている。

また、「幅広いニーズに応える葬儀

有限会社 東典禮

代表取締役 伊藤 健吾

■経営者のプロフィール

昭和四十二年（一九六七年）相模原市生まれ。昭和五十一年に父の会社移転に伴い町田市へ転居。

大学時代は外国語を専攻し、将来は英語教師を目指していたが、諸事情により家業に従事するため他社で三年間修行し、当社に就職。その後、二代目社長（実母）の急死により平成十六年に代表取締役就任し、現在に至る。

趣味はゴルフで、性格は「慎重すぎる」と、物事を深く考えすぎること、尊敬する人物は亡き父（初代社長）並びに母である。

現在、多

摩葬祭業協同組合理事ほか各種団体の委員も多く兼務し、会合等で業界の発展や地域の振興・活性化に努めている。

